

## 令和2年度 第3回学校運営協議会

令和3年2月5日

於 会議室

司会：教頭 書記：森

### 1. 校長挨拶

### 2. 会長挨拶

### 3. 協議項目（司会：委員A）

#### 1) 令和2年度学校経営評価（案）について

※令和2年度は新型コロナウイルスにより見通しのない中での評価案であり、当初予定していたものの、中止となったものもある。

##### 1：【学校教育自己診断】について

- ・「学習態度・受験勉強」において生徒の肯定回答が70%を下回るものが多く、全体で最も評価が低い。特に家庭学習に対する状況は芳しくない。（肯定回答62%）
- ・「学校生活」において生徒指導方針に対する肯定的回答が69%と、納得できない生徒もいるが、保護者の数値は肯定89%と理解を得られていると考える。
- ・保護者に対する「家庭連絡・相談・情報発信」に関しては全体的に肯定的回答が多く、今年度は新型コロナウイルスに関する情報発信が多く、学校と保護者とのコミュニケーションツールとして活用。（現在、生徒もしくは保護者のどちらかがメールサービスに登録している）
- ・本校に対する「満足度」保護者89%、生徒80%

##### 2：【豊かな社会性及びたくましく生きる力の育成】について

- ・「生徒会の活動」生徒会役員が中心に新型コロナウイルスに対する募金を行った。
- ・「国際交流」に関しては予定していたオーストラリアへの研修旅行は中止となったが、DNN英会話の利用や、Web会議システムを利用しフィリピンの生徒と交流を行った。

##### 3：【生徒の力をしっかり伸ばす学校力の向上】について

- ・防災訓練もGoogleClassroomを利用し来るべく緊急状況を想定し安否確認を行った。

##### 4：【その他全体】について

- ・令和4年よりアドバンスクラスを設置（基礎学力を身に着け、さらに勉学を磨くクラス）
- ・早期からの学習支援をさらに促進させる。（体系化された学習指導プランの確立）

### 【意見・質問】

- 委員A：生徒の登下校のルールやマナーは概ね守られていると思うが、先生の指導があっても一部に残念な生徒がいる。
- 委員B：アンケートにおいて家庭学習が低めという結果に対し、生徒は正直だと思った。今年コロナ禍の影響で休校もあった分、学習を自分で管理をしなければならなかったが、それが難しかったのではないかと。家庭学習への支援をさらにしていただけると嬉しい。

- 委員C：早期からの学習支援は、学力向上につながるのでありがたい。高校は大人の入り口なので、ルールやマナーに対する指導を後々理解してくれると信じて指導してほしい。
- 委員長：GoogleClassroom等、工夫をされているが、令和3年も劇的な回復が見込めない状況が続くと思われる。授業の工夫もより重要度を増す。ICTと対面のハイブリットな授業等、今後更なる校内研修が必要になるのではないかと。

●令和2年度学校経営評価（案）について承認をいただく。

## 2) 令和3年度学校経営計画（案）について

### 1：【確かな学力の育成と第一志望の進路実現】について

- ・令和4年度からの観点別評価導入に向けて、令和3年度は試行を行う。  
（大きく評価方法が変わるので、既にプロジェクトを組んで検討を始めている）
- ・令和3年度の生徒1人1台の端末配布に向け、ハード、ソフト両面の準備が必要。  
（導入は3年度途中）
- ・図書室の利用数等、生徒数減少に伴い目標数値を実人数から割合に変更。

### 2：【豊かな社会性及びたくましく生きる力の育成】について

- ・海外からの生徒の受け入れ。（今後はWebなどオンラインの交流も積極的に検討する）
- ・香里カップ、香里フェスは新型コロナウイルスの感染者が収束すれば開催したいが、今後はWeb開催を視野に検討したい。

### 3：【「生徒の力をしっかり伸ばす学校力の向上】について

- ・今年度は学校見学会が多く中学校で中止される中、様々な対策を講じ、本校主催のものは実施することができた。（例年通りではないものの、多くの中学生、保護者に来校いただいた）

### 4：【校務の効率化と働き方改革の推進】について

- ・会議資料を、Webを使用した配布等デジタル、アナログ問わず効率の良い方法を検討。

## 【意見・質問】

- 委員長：海外生徒との交流について、引き続き海外研修が難しい状況となるが、Webで交流を行うとしても他国との時差が考えられるが、どのような国を検討しているのか。
- 学校：時差が少ないアジアが中心に検討しており、フィリピンのマニラは候補であるが、オーストラリアが理想。また、観光局等からも情報を得て今後の実施を検討。
- 委員長：プライベートで海外の生徒と交流のある生徒の情報を吸い上げたりしていますか。
- 学校：今後検討したい。
- 委員B：今年は特に出来ない事が多かったが、逆にWebの利用等今だからできる事もある。今だから出来ることを探したり、考えたりすることが生徒に役立つと思う。
- 委員B：Zoomなど新しい技術を生徒が正しく使える教育をお願いしたい。
- 委員C：観点別評価について、個人の良さが評価に反映されると嬉しい。
- 委員A：対面とオンラインのハイブリットで行っていくのか。
- 学校：対面が可能でないときにはオンラインを利用。

- 委員A：コロナ等で休んだ生徒もオンライン授業を受けられるようにはできるか。
- 学校：既にオンラインでの授業は試行済。今後は運用を検討。
- 委員A：オンライン授業に対し不安を感じている生徒はいるか。
- 学校：現段階では見られない。

●令和3年度学校経営計画（案）について承認をいただく。

### 3) 進路実現に向けての各取り組みについて

#### ①39期生進路状況中間報告

- ・始めて共通テストを受けた学年であり、それを想定し1学年から指導を行ってきた。  
(例：英検の対策等)
- ・昨年からの大学入試に関する不安要素が大きく、安全志向になった生徒が多い。
  - 指定校推薦：74名（年々増加傾向にある）
  - AO入試：29名（増加傾向）
  - 公募制入試：合格者が増大
- ※数値はR2.12月末時点
- ・今年度は3年生の3学期は午後の授業時間をカットし、希望者の講習等の時間に充て、進路実現の支援を行った。
- ・今年度はコロナ禍の影響で模擬試験が公開会場で行われず、校内実施が基本となった。

#### ②探究発表について

##### ○2学年【40期生】での実施

- ・修学旅行先の宮古島をテーマとし探究活動を行ってきた。
- ・探究成果はプレゼンテーションソフトを使用し、クラスでの発表を経て、クラス代表による発表を体育館にて実施。
- ・関西大学の教授、ならびに学生に指導いただき、発表の際にも来校いただいた。
- ・修学旅行先でもある宮古島のNPOエコガイドカフェの方にWeb会議ソフトにて複数回参加いただき、講評をいただいた。

##### ○1学年【41期生】での実施

- ・ポスターセッション形式で体育館にて実施。（【40期生】でのノウハウを活用）

##### ○スポーツコースでの実施（10名）

- ・スポーツコースでは学年での探究活動に先行して実施しており、今年で3年目を迎える。
- ・内容は各クラブでの活動を通し疑問に思うところ、後輩に伝えたいことについての考察。
- ・探究成果はプレゼンテーションソフトを使用し、発表。

### 4. 校長謝辞